

の平和祈念式典における平和宣言には、北朝鮮の核開発を非難する文言を入れるべきだったのではないかと。

**答** 核実験の強行などの北朝鮮の暴挙は断じて許すことはできず、長崎市は、北朝鮮の核実験に対しこれまでも繰り返し抗議しており、全ての核兵器と核計画を即刻放棄するよう訴えてきた。

ことしの平和宣言では、核兵器を巡る国際情勢、核兵器の抑止力に基づく安全保障政策の見直し、「北東アジア非核兵器地帯」構想など北朝鮮にもかかわる問題について言及しながらも、北朝鮮を名指しするのではなく広い視点から核兵器廃絶と世界恒久平和を訴えた。

平和宣言については今後とも世界の人人々の共感を得るよう、被爆地の強い思いをしっかりと発信していきたい。



▲平和祈念式典の様子

### 複式学級の早期解消への取り組み

**問** 学校規模の適正化と適正配置に係る実施計画で対象となっている16地区において、現在どのような協議を行っているのか。また、複式学級の早期解消への取り組みについて伺いたい。

**答** 現在、各団体の代表者、役員、地域住民や保護者の皆様との意見交換会を行っており、子どもの数が減少している現状は一定理解が得られているが、統廃合への不安などさまざまな意見をいただいている。

また、複式学級については教員が一人で同時に異なる学年を受け持つこととなり、子どもたちだけで学習を進める場面がふえ、教師とのかかわりが少なくなることから早期解消に努めたい。

全学級が複式学級である琴海地区の尾戸小学校については、長浦小学校と統合することで地域の皆様の意見がまとまり、両校の早期統合に向けて取り組みを進めたい。

## 日本共産党

### 小島養生所跡と関連遺構の保存と活用

**問** 遺跡群の全体を対象とした調査を行い、価値ある遺跡については国の史跡指定を目指しながら、保存と活用を図る考えはないのか。

**答** 当初、小島養生所を除く施設の遺構は確認されていなかったが、ことし5月に分析研究所があった敷地において建物周囲の石垣の基礎部分が一部発見された。

これらの遺構が残る範囲を史跡に加

えることについて、6月開催の文化財審議会において、拡大範囲は試掘調査の結果をもって決定し、新校舎の建設に支障となる部分は基本的に記録保存として工事を計画どおり進めることについて了承を得ており、現在、そのための調査を進めている。

これまでの調査・検討の経過から、残存する遺構については、国の史跡指定を受けることは困難であると判断しているが、市の史跡として、適切な方法により保存・継承を図っていきたい。

**分析研究所**：小島養生所の関連施設として、物理の講義や化学の実験が行われた。長崎大学薬学部の前身とされる。

### フリーゲージトレインの開発難航に対する市の考え方

**問** ことし7月にJR九州が導入困難を表明したが、この表明に対する長崎市の見解を伺いたい。

**答** 長崎市が新幹線整備に取り組み目的は、全国の高速度鉄道ネットワークにつながることで関西圏も含め広域から多くの人々を呼び込み、交流人口をふやし、地域の活性化を図ることであり、西の端に位置する長崎市にとって、新幹線は不可欠なツールである。

フリーゲージトレインの導入は困難なものとして認識しているが、長崎市の将来にとって新幹線整備の必要性が変わ

## チーム2020

### カラーユニバーサルデザインについて

**問** 色の認識がしにくい人にも情報がきちんと伝わるように色使いなどを配慮するカラーユニバーサルデザインについては、行政が率先して取り組んでほしいが見解を伺いたい。

**答** 多様な色覚を持つ人にも情報が正確に伝わるよう、施設の表示や資料の作成に際しては色の使い方や表示方法などに配慮する必要があると考えている。

しかし、市が作成するさまざまな資料や公共施設などで用いる表示等においては、まだカラーユニバーサルデザインが十分浸透しておらず、窓口対応時にも申請用紙や案内矢印の色などで案内を行うケースなどもある。

今後、カラーユニバーサルデザインの趣旨や使用例を含めた全庁的な周知を図りながら、できる限り全ての方々に正確な情報を伝えるための配慮に努めたい。